

創刊にあたって

本誌の創刊にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

内閣府経済社会総合研究所は、日本および世界経済の実証研究を行うとともに、国民経済計算の推計や景気統計の作成など経済分析の基礎的インフラを提供する任務を帯びています。これは、事実の観察と分析に基づいて経済財政政策を企画立案するためにはなくてはならないものです。

経済財政運営のため経済財政諮問会議においては、「骨太の方針」のとりまとめに向け、日本経済再生のための政策体系の在り方、中長期の財政健全化を実現するための取り組みの在り方、経済再生との両立を実現するための道筋等について検討が進められています。経済社会総合研究所は、こうした政策現場の問題意識に則した研究を進め、実証分析に重点を置きながら今後ともその任務を果たしていく必要があります。

このたび経済社会総合研究所は、研究成果、SNAなどの経済統計に関する情報に加え、内閣府の経済財政政策部局の政策等を各方面に広く提供することを目的として、当研究所の英文名称にちなみ、季刊「Economic & Social Research (略称 ESR)」を創刊することといたしました。我々の活動は、国の内外における多くの方々のご協力、御支援があっはじめて、価値を高めることができます。本誌の発行を通じまして、多くの方々がお内閣府の行う経済財政政策や研究成果などについて関心と理解を深めてくださるよう努めたいと考えております。今後、読者の皆様のご意見も聞きつつ改善を積み重ね、皆様にとって役立つ情報を広く提供していきたいと考えておりますので、よろしく御指導、御支援のほどお願い申し上げます。

内閣府経済社会総合研究所

名誉所長 清家 篤